



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社 太平製作所
コード番号 6342 URL <http://www.taihei-ss.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 武
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 尾関 修康

TEL 0568-73-6411

四半期報告書提出予定日 2024年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,216	33.1	893	83.8	909	78.3	612	75.3
2023年3月期第3四半期	4,670	43.1	486		509	535.9	349	

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 618百万円 (75.0%) 2023年3月期第3四半期 353百万円 (898.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	438.64	
2023年3月期第3四半期	250.03	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	11,612	6,346	54.7	4,525.50
2023年3月期	9,926	5,844	58.9	4,217.31

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 6,346百万円 2023年3月期 5,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		20.00		60.00	80.00
2024年3月期		50.00			
2024年3月期(予想)				80.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,980	39.5	1,648	121.9	1,667	116.8	1,148	68.0	818.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	1,500,000 株	2023年3月期	1,500,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2024年3月期3Q	97,515 株	2023年3月期	114,077 株
------------	----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	1,395,378 株	2023年3月期3Q	1,396,844 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第5類移行に伴い、社会経済活動は継続的に正常化の動きが見られた一方、ロシア・ウクライナ情勢や中東地域をめぐる情勢の深刻化など地政学的リスクの拡大や、円安の進行などによる原材料価格やエネルギー価格をはじめとする物価の上昇が経済活動に下振れの影響を及ぼすなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

木材産業の動向につきましては、当社グループの事業活動に関わりの深い住宅着工戸数および合板生産量は緩やかに減少傾向であるなか、引き続きLVLやCLTなど木質資源の有効活用に資する新建材の動向に期待が寄せられる状況が続きました。

このような状況のなか、当社は国内外への営業活動に加えて当社ブランドおよび機械認知度の向上を目指した取り組みを推し進めるとともに、既存機械の改良や新建材の製造などに係る新たな技術の開発に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は6,216百万円（前年同四半期比33.1%増）となりました。損益面につきましては、国内および海外での展示会出展に伴う広告宣伝費の計上などにより販売費及び一般管理費は増加したものの、営業利益は893百万円（前年同四半期比83.8%増）、経常利益は909百万円（前年同四半期比78.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は612百万円（前年同四半期比75.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①合板機械事業

合板機械事業につきましては、受注案件の製造および納品を着実に進めるとともに、既設機械のメンテナンスや改良の提案活動に注力したことに加えて、特殊な要因における大型受注の影響もあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,615百万円（前年同四半期比55.1%増）、営業利益は990百万円（前年同四半期比155.5%増）となりました。

②木工機械事業

木工機械事業につきましては、生産性向上・省人化機械への入れ替えや、国産材の国内消費を高めるため新たな工場を建設するなど、設備投資意欲が高まっております。このような環境の中、顧客ニーズに合わせた機械の開発改良に注力して取り組んでまいりました。2023年10月開催の日本木工機械展におきまして、デジタル技術によって品質管理等に大きく貢献する次世代型スキャナー「T-Scanner DX」を出展し、技術優秀賞を受賞いたしました。また、主力機械であるフィンガージョイントラインやスキャナー関連などの受注が増加しました。一方、利益につきましては、人件費の上昇などコストが増加したことにより減少しました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は933百万円（前年同四半期比10.3%増）、営業利益は23百万円（前年同四半期比83.4%減）となりました。

③住宅建材事業

住宅建材事業につきましては、当社の得意とする2×4住宅に係るパネル生産の受注獲得および建材販売等の営業活動に注力いたしましたが、住宅着工戸数の減少に伴う需要の減少等もあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は667百万円（前年同四半期比21.3%減）に留まりました。損益面につきましては、物価上昇等によるコスト上昇により収益性が低下したことに加え、新型コロナウイルス対策で行われたゼロゼロ融資の返済が始まったことにより、資金繰り難から倒産する取引先が発生した影響もあり、営業損失47百万円（前年同四半期は25百万円の営業利益）となりました。

セグメントの受注実績

セグメントの名称	前第3四半期累計期間 (千円)	当第3四半期累計期間 (千円)	前年同期比 (%)
合板機械事業	4,860,934	4,281,025	△11.9
木工機械事業	640,656	1,636,403	155.4
住宅建材事業	841,269	687,614	△18.3
合計	6,342,860	6,605,042	4.1

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて18.2%増加し、9,315百万円となりました。これは主に、有価証券が500百万円増加、受取手形、売掛金及び契約資産が442百万円増加、現金及び預金が407百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて12.2%増加し、2,296百万円となりました。これは主に、投資その他の資産のその他が212百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて17.0%増加し、11,612百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて32.4%増加し、4,844百万円となりました。これは主に、前受金が1,102百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し、420百万円となりました。これは主に、長期借入金が23百万円減少、固定資産のその他が9百万円減少、退職給付に係る負債が31百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて29.0%増加し、5,265百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて8.6%増加し、6,346百万円となりました。これは主に、利益剰余金が458百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年11月6日の業績予想の修正に関するお知らせで公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、連結業績予想につきましては、当社グループが現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,805,686	4,213,340
受取手形、売掛金及び契約資産	1,850,350	2,292,444
有価証券	1,300,000	1,800,000
仕掛品	439,136	265,605
原材料及び貯蔵品	417,077	437,319
その他	69,057	319,964
貸倒引当金	△1,441	△13,333
流動資産合計	7,879,866	9,315,340
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	478,032	465,224
土地	689,746	689,746
その他（純額）	88,308	144,836
有形固定資産合計	1,256,087	1,299,807
無形固定資産		
その他	20,370	14,484
無形固定資産合計	20,370	14,484
投資その他の資産		
その他	770,398	982,673
投資その他の資産合計	770,398	982,673
固定資産合計	2,046,857	2,296,964
資産合計	9,926,723	11,612,305
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,532,996	1,763,630
短期借入金	800,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	212,000	23,100
未払法人税等	164,416	220,523
賞与引当金	102,121	66,652
受注損失引当金	4,583	1,365
完成工事補償引当金	96,350	213,100
前受金	531,488	1,634,312
その他	215,540	221,935
流動負債合計	3,659,496	4,844,620
固定負債		
長期借入金	100,000	76,900
退職給付に係る負債	298,500	329,852
役員退職慰労引当金	2,445	2,445
その他	21,417	11,546
固定負債合計	422,363	420,743
負債合計	4,081,859	5,265,363

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	114,957	128,753
利益剰余金	5,118,777	5,577,570
自己株式	△159,594	△136,424
株主資本合計	5,824,140	6,319,899
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,723	27,041
その他の包括利益累計額合計	20,723	27,041
純資産合計	5,844,863	6,346,941
負債純資産合計	9,926,723	11,612,305

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	4,670,900	6,216,621
売上原価	3,544,863	4,565,313
売上総利益	1,126,036	1,651,308
販売費及び一般管理費	639,958	757,808
営業利益	486,078	893,499
営業外収益		
受取利息	111	276
受取配当金	2,703	4,396
鉄屑売却収入	3,342	6,031
保険解約返戻金	—	1,910
助成金収入	15,963	1,517
その他	4,129	4,901
営業外収益合計	26,250	19,034
営業外費用		
支払利息	2,285	2,179
デリバティブ評価損	—	1,101
その他	208	9
営業外費用合計	2,494	3,290
経常利益	509,834	909,244
特別利益		
固定資産売却益	163	543
特別利益合計	163	543
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	509,998	909,787
法人税、住民税及び事業税	162,993	299,370
法人税等調整額	△2,243	△1,654
法人税等合計	160,749	297,715
四半期純利益	349,248	612,072
親会社株主に帰属する四半期純利益	349,248	612,072

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	349,248	612,072
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,127	6,318
その他の包括利益合計	4,127	6,318
四半期包括利益	353,376	618,391
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	353,376	618,391

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（税金費用の計算方法の変更）

税金費用については、従来、原則的な方法により計算しておりましたが、四半期決算の対応を迅速かつ効率的に行うため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,976,140	846,198	848,561	4,670,900
セグメント間の内部売上高又は振替高	718	—	—	718
計	2,976,858	846,198	848,561	4,671,618
セグメント利益	387,532	143,603	25,849	556,985

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	556,985
未実現利益の消去	203
全社費用（注）	△71,110
四半期連結損益計算書の営業利益	486,078

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	4,615,798	933,389	667,433	6,216,621
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	4,615,798	933,389	667,433	6,216,621
セグメント利益又は損失(△)	990,121	23,845	△47,404	966,562

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	966,562
未実現利益の消去	8
全社費用（注）	△73,071
四半期連結損益計算書の営業利益	893,499

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。